

## アルコール・薬物病棟 入院案内

肥前精神医療センターでは、西 4 病棟をアルコール・薬物依存治療の専門病棟としており、入院期間は 10 週間(薬物依存の場合は 4 週間)を原則としております。

ここでの入院治療の主な目標は、次に掲げるものです。

- まず、アルコール・薬物で傷ついた身体や心を癒して下さい。
- アルコール・薬物と自分との関係を冷静に振り返り。自分の病気(依存症)について正しい知識を得て下さい。
- 病気からの回復のためには、断酒・断薬が必要です。これまでのあなた自身の体験や仲間の話から、アルコール・薬物をコントロールして使用すること(節酒)が困難であることを思い起こして下さい。
- 断酒・断薬は、その思いだけでは現実には難しい面があります。こういった具体的な行動が有効なのかを学んで下さい。
- 一人で断酒・断薬を続けるのは困難です。体験を語り合え、思いを分かち合える仲間の力が必要であることを学んで下さい。
- 回復を願う気持ちを忘れずに、充実した入院生活になるよう一緒に頑張りましょう！

### 1. アルコール依存の方

#### (1) アルコール離脱・身体治療期(入院後約 2 週間)

入院後 2 週間前後はアルコールを体から抜くために様々な離脱症状が起こり、また臓器障害もあって身体的に苦しい時期です。特に入院後 1 週間は、吐き気や下痢のため食事も充分とれず不眠も続くことがあります。徐々に 確実に回復します。この期間は、離脱症状を軽くするような薬と肝臓の薬の服用、水分やビタミンなどを補う点滴を行います。また、身体の状態を調べるために色々な検査も合わせて行います。焦らないでまず 安静を心がけて下さい。

#### (2) ARP(アルコリズム・リハビリテーション・プログラム)(3~10 週目)

離脱期を過ぎ、身体的に回復してくると逆に自信にあふれ、いつでも断酒できるような自信が出るがありますが過信は禁物です。この時期は特に慎重に過ごさなくてはなりません。ここから退院までは飲酒習慣より脱し、 これまでのアルコールとの関係や自分の生き方をきちんと振り返り、断酒の意志を固め退院後の断酒生活に必要な知識と知恵を得て下さい。同じ病気に悩む仲間から得る知識や知恵も有用です。また、体験を語り合え思いを分かち合える仲間の力が必要であることを学んで下さい。

### 2. 薬物依存の方

#### (1) 薬物からの離脱期(入院後約 1 週間)

使用していた薬物によって離脱症状の違いはありますが、入院当初は幻覚や妄想、身体的な倦怠感の著しいときがあります。まずは正しい睡眠と食事が必要です。この間に必要な

検査と点滴などの処置を行います。

(2) DRP(ドラッグ・アディクション・リハビリテーション・プログラム)期(2~4週目)

薬物依存にある者の多くは若者です。約束をしても3か月先のことは十分に予測ができない場合が多く1か月(4週間)ごとの治療契約の更新で契約をすることにしています。それに合わせてDRPが構成されています。薬物学習会、薬物ミーティング、薬物エキササイズなど薬物依存独自のプログラムと、アルコールとの合同プログラムがあります。久留米であるNA(月曜日)にも早い時期に参加できます。これらを通して自らの薬物体験を振り返りましょう。

### アルコール・薬物電話相談

アルコール・薬物問題で悩んでいる方、再飲酒の危機にあるときなどに電話相談を受け付けています。ご利用下さい。



対応時間：9:30~20:00

電話番号：0952-52-3231(代表)

内線 西4病棟



### ご家族の皆様へ

依存症からの回復は本人の努力だけでは困難です。家族の理解と協力が必要です。依存症で苦しむのは本人以上に巻き込まれている家族である場合も多々あります。このためアルコール・薬物家族会や家族カウンセリングを開いています。

また、家族の自助グループとして断酒会の家族会やアラノン、ナラノンなどがあります。ご参加下さい。

#### 1. アルコール依存家族会

アルコール依存症は家族を巻き込んで人間関係を破壊していく病気です。一旦失われた信頼関係は、お酒をやめただけでは回復しません。家族は世間体の悪い思いをしたり、将来の生活に対する不安や暴力への恐怖などもあり感情の安定を失ってしまうこともあります。家族自身の回復の場として、他のご家族との出会いの場として家族会を開いています。

時間：第2・4金曜日 10:00~11:30

場所：デイケア棟2階 集団療法室

#### 2. 薬物依存家族教室

家族や親しい友人の薬物の問題で、「どう接したら良いのかわからない。」「振り回されてくたびれた。」そんな思いを抱えておられる方はいらっしゃいませんか。薬物依存とはどんな病気なのでしょうか?

ちょっと立ち止まって、病気について、本人への対応について一緒に整理して下さい。

入院中の方のご家族が初めて参加される時に、テキスト代・参加費として¥1,000 徴収させ

て頂きます。

時間：第1・3金曜日 10:00～11:30

場所：デイケア棟2階 休憩室

#### 関連書籍案内

「薬物乱用防止教育」 その実際と、あるべき姿

医療分野を当院のアルコール薬物依存治療グループが担当しました。